

〇〇〇 いい先輩になろう！ 〇〇〇

>>>>>今日は「入学説明会」

みなさんは間もなく2年生になります。すると、後輩ができます。その時、自分が「先輩」と呼ばれるのにふさわしい中尾中生でいたいですね！



そもそも先輩とは、どんな存在でしょうか？

1. あこがれるような人。自分もあなりたいと思う人。
2. 面倒見が良くてやさしく頼りがいのある人。
3. なんだか怖い人。体も大きいし、ちょっと近寄りたいたい人。
4. 威張ってばかりいる人。意地悪で関わりたくない人。
5. だらしがなくて、変な格好や態度でみっともない人。
6. いてもいなくても同じ人。

考えればもっといろいろな人がいることでしょう。そんな中で、自分はどういう先輩になりたいですか？

上記のタイプで言えば、1番や2番の人でしょう。4～6番なら、「先輩」の意味がないですね。特に4番・5番はいいないほうがいいタイプの人です。

では、1番・2番のような先輩になるにはどうしたらいいでしょう。それは、自分を磨く以外にありません。このような先輩になるには、勉



“先輩の鑑” (お手本)

3年生 H君のこと

みなさんが入学してから6月くらいまで、3年1組のH君が、1年生のワゴンプールに毎日来て給食の片付けの面倒をみてくれました。指示はやさしくわかりやすく、片付けの手際もとても良いのです。先生方が指導に立ってはいましたが、時には先生方より頼りになるほどの存在でした。

私はいつも感心し、ありがたいと思っていました。

強も部活も、生活全般にわたってこつこつと取り組み、人のことや学校のことに関心を向け、言葉や行動に責任をもつことです。学年が進んだからといって、自然になれるものではありません。

この1年間で自分が関わった先輩で素敵な人がいたら、真似をすることです。自分がしてもらってうれしかったことや助かったことを後輩にしてあげるのです。されて嫌だったことは決して後輩にははいけません。

あと2ヶ月もしないうちに「先輩」、「先輩」と呼ばれるようになります。2年生になってから、言葉と行動に気をつけるのでは間に合いません。今から気をつけて生活していけば間に合うでしょう。中身のある先輩となり、いい後輩を育てて、一緒に中尾中学校をより良い学校にしていきましょう。それがみなさんに課せられた、大事な大事な使命です！